



Emission-free (排出ガスのない)モビリティ: ボッシュ、燃料電池で Qingling Motors (慶鈴汽車)と協業 中国に合弁会社 Bosch Hydrogen Powertrain Systems (Chongqing)社を設立

2021年4月14日

PI 11302 BBM ts/af

- ▶ 中国全自動車メーカーへの燃料電池システム提供を視野に入れた合弁会社設立
- ▶ ボッシュの燃料電池システムを搭載した Qingling 製トラックのテスト車両が、2021年に中国で公道走行を開始
- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーのシュテファン・ハルトウング:
「ボッシュは燃料電池の製品化を加速しています」

シュトゥットガルト(ドイツ)／重慶(中国) – ボッシュは、燃料電池を Emission-free (排出ガスのない) 駆動ソリューションとしてグローバルに展開するための、新たな一歩を踏み出しています。ボッシュは中国で、プレミアム商用車メーカーの Qingling Motors (慶鈴汽車)と、合弁会社 Bosch Hydrogen Powertrain Systems (Chongqing)社を設立しました。新会社では中国市場向けに、燃料電池パワーモジュールと呼ばれる燃料電池システムの開発から組み立て、販売までを行います。両社のテクノロジーと市場における専門知識を組み合わせることで、中国の燃料電池市場の発展および中国自動車業界の転換に貢献することを目的としています。中国自動車エンジニア学会 (ChinaSAE) が発表した「省エネルギー・新エネルギー車技術ロードマップ 2.0」によると、中国では 2030 年までに燃料電池車の保有台数が 100 万台以上になると見込まれています。合弁会社では、中国の全自動車メーカーに燃料電池システムを提供することを目指しています。システムに必要な燃料電池スタック、パワーエレクトロニクス付きエアコンプレッサー、センサー付きコントロールユニットなどのコンポーネントは、主としてボッシュの無錫工場から供給される予定で、年内に小規模生産が開始される見込みです。同じく年内に、ボッシュの燃料電池パワーモジュールを搭載した 70 台の Qingling 製トラックのテスト車両が公道走行を開始します。燃料電池システムの市場投入は、2022 年から 2023 年に計画されています。

燃料電池の専門知識に市場ノウハウを融合

「現在、ボッシュは、燃料電池の製品化を文字通り加速しています。革新技術と戦略的パートナーシップは、道路交通をできる限りクライメートニュートラルにするという目標を迅速に達成するための理想的な原動力です」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーでモビリティソリューションズ事業部門長のシュテファン・ハルトウングは述べています。過去数年にわたり、ボッシュは中国の Qingling と、燃料噴射および排出ガス後処理の分野で協力してきました。「ボッシュとの良好な協力関係を継続できることを嬉しく思います。今回の協力は、モビリティ用途の燃料電池の製品化に向けたマイルストーンであるとともに、中国自動車業界のさらなる発展に向けた多大なる貢献でもあります」と、Qingling Motors 会長の Du Weidong 氏は語ります。

ボッシュは、燃料電池に関する自らの専門知識を合弁会社に提供しています。

Qingling は、小型から中型、大型トラックにまでおよぶ完全な製品ポートフォリオを有し、電動化と燃料電池に注力するプレミアムメーカーとして、商用車のノウハウと中国のトラック市場における長年の経験を提供しています。「中国は、e モビリティにとって最も重要な成長市場です。特に長距離走行の大型車両においては、燃料電池はバッテリー駆動の電動パワートレインよりも明らかな優位性を有しています」と、ハルトウングは述べています。

ボッシュは燃料電池の製品化を一貫して推進

ボッシュは、水素の将来性を確信して同分野に継続的に投資しており、中国での燃料電池事業によって、開発コンピテンスをすでに構築しています。昨年は、無錫に燃料電池センターが建設されました。現在は、合弁会社にも供給予定のコンポーネントに必要な生産能力の準備に取り掛かっています。このように、ボッシュは中国市場での取り組みを強化しています。

ドイツのバンベルク、フオイヤバツハそしてホンブルクの拠点でも、燃料電池の製品化を推進しています。ボッシュは現在、スウェーデンの専門企業である Powercell 社と協力し、2022 年以降の自社での量産開始を目標に、燃料電池スタックの市場投入に向けた開発を進めています。

報道用画像: #3ac79231, #4114a408

報道関係対応窓口:

Thorsten Schönfeld,

電話: +49 711 811-43378

Twitter: @BoschPress

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2020年の暫定決算報告での売上高は423億ユーロで、グループ総売上高の59%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全でサステイナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle（車車間）およびVehicle-to-Infrastructure（路車間）通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2020年の従業員数は約39万4,500人（2020年12月31日現在）、暫定決算報告での売上高は716億ユーロ（約8.7兆円*）を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI（人工知能）を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界126の拠点で約7.3万人の従業員が研究開発に、約3万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2020年の為替平均レート、1ユーロ=121.8458円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英語）

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英語）

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター（ドイツ語）

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト（日本語）

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター（日本語）

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック（日本語）

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube（日本語）